



教育センター・育成センター所報

GALILEI



科学研究おうえんプロジェクト「海のいきもの観察会」 6月11日(土) 番神海岸



青少年のための科学の祭典 2016 柏崎刈羽大会 6月18日(土)会場:新潟工科大学

CONTENTS

○巻頭言 P 1

★イメージ力と連携

教育センター 副所長 古川 勝哉

○教育センターだより

★アクセス(教育研究班) P 2

★プロジェクト K(科学技術教育センター) P 6

★心の窓(教育相談係) P 10

○青少年育成センター通信 P 13

○主な行事のご案内 P 15

○所員随想「つれづれ」 P 15

★福井県敦賀市本町(ほんまち)界限

青少年育成センター指導員 歌代 信夫



教科書センター会場

教科書展示会開催状況

平成28年度 第2号(夏号)

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

イメージ力と連携

柏崎市立教育センター
副所長 古川 勝哉



今年4月14日に震度7を観測する熊本地震が発生しました。一連の地震活動において震度7が2回観測されたのは、観測史上初めてのことであり、亡くなった方が49人、今なお4,800人以上（熊本県内）の方が避難生活を送っているそうです。さらに、緩んだ地盤に追い打ちをかけるように、6月下旬には九州地方で1時間の雨量が100ミリを超える記録的な大雨が降り、九州地方は甚大な被害を受けました。2つの災害で亡くなった多くの方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。9年前に中越沖地震に遭っている私たちにとっては、決して他人事とは思いうことはできず、1日も早い復興を願うばかりです。

熊本地震直後、新潟県から派遣された支援活動部隊の方が、中越沖地震の経験を踏まえ、次のような話をされているのをテレビで観ました。

災害時は、動揺し冷静な判断ができなくなるので、日頃から災害が起きた時をイメージして、どこに逃げたらよいか、何を持ち出したらよいか考え、準備しておくことが大切です。また、避難生活では、地域の人との協力が必要不可欠になります。地域の人とのつながりは、すぐには築けません。災害が起きてからでは遅いのです。日頃から近所の人顔を覚え、話をしてつながりを築いておく必要があります。

このようなことを心掛け、準備しておかないと、災害時に適切な行動をとることができず命を落したり、避難所生活で人間関係に苦しんだりすることになってしまいます。

さて、国では、平成32年度(中学校では平成33年度)からの新学習指導要領の全面実施を目指し改訂作業が進んでいます。道徳の教科化、小学校高学年での英語科の導入、「アクティブ・ラーニング」の視点による授業改善などが検討され、今年度中には、まとめの段階に入るというスケジュールが公開されています。また、昨年12月には、中央教育審議会3答申の中の1つに「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」が出され、学校と地域の一層の連携・協働の重要性がうたわれています。

それら新しい教科や視点等への対応や人とのつながりを構築することは、前述の災害時と同様、実際にことが始まってからでは遅すぎます。今から次期学習指導要領を見据え、新しい教科や視点での授業をイメージするとともに、日々実践を積み重ねながらイメージ力自体を高めること、人との深いつながりを築き、地域と連携した学校づくりを推進していくことが大切です。未来を担う子どもたちのために、次期学習指導要領を見据えた着実な歩みを共に進めていきましょう。

ア ク セ ス

楽曲の中に教材性を見出し、的確な声掛けで子どもを伸ばす

◆7/7（木）児童生徒を生かす音楽指導～歌唱表現を中心に～

講師：上越教育大学 特任准教授 菊地 雅樹 様

吹奏楽優秀指導者賞受賞、音楽コンクール審査員、新潟大学教育学部附属長岡中学校勤務のご経験がある、菊地先生をお招きし、学校教育研究会音楽教育研究部会と共催で本講座を行いました。

講座が行われたのは、7月7日。受講者のきれいな『たなばたさま』の歌声で講座が始まりました。小学校低学年でのチャンツを取り入れた歌唱から中学校での混声合唱まで、児童生徒の発達段階に合わせた指導の在り方や、歌う時の姿勢、ブレスや響きのある発声のための声掛け、心に迫る表現の仕方を、たくさんの楽曲を実際に歌いながら丁寧に教えていただきました。



受講者と歌う菊地雅樹先生

菊地先生の的確な声掛け、柔らかい指導で、受講者の歌声がどんどん素晴らしくなっていく様子が印象的な講座でした。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 参加者の感想 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- 楽しく、分かりやすいご指導で、講座の時間があっという間でした。「音楽は楽しい！」と子どもたちが感じられるような声掛けが必要なのだと思いました。
- 1つ1つの曲で、こんなに多くのことが指導できることを知り、驚きの連続でした。
- 自分の声を出して気持ちよく歌えたことがうれしいです。子どもにも、同じような気分を味わいながら歌ってもらえる歌唱指導を目指したいと思います。

デジタル教科書で「視覚化」「焦点化」「共有化」を！

◆デジタル教科書活用講座(国語、社会、算数・数学、理科、外国語活動・英語)

この講座では、デジタル教科書の機能を学んだ後、実際の授業場面で活用することを想定しながら、受講者一人一人がデジタル教科書を操作したり、模擬授業を行ったりしました。

教科書の改訂に伴い、小学校では昨年度、中学校では今年度、デジタル教科書も変わり、新しい機能やコンテンツが加わり、より一層操作、活用しやすくなりました。

デジタル教科書は、①児童生徒がもっている教科書と同じものをカラーで提示できる。②児童生徒に見せたいものだけを切り取ったり、拡大したりして提示すること（焦点化）ができる。

③共有化しやすくなる。などの利点があり、受講者は、それらを実感しながら研修を深めることができました。

「この場面では、この機能を使ってこんな学習活動を仕組めば、子どもは意欲的に学習するのではないか」と、具体的なイメージをもたれた受講者が多くいました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 参加者の感想 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- 理科では、動画が充実していることに驚きました。メダカの受精や誕生の瞬間など、学校ではなかなかその瞬間が見られないので、動画を活用したいと思いました。
- 自分自身デジタル教科書をもっと活用していくとともに、情報教育主任として、校内でデジタル教科書の活用研修を行い、デジタル教科書活用率100パーセントを目指します。
- 授業で使わなくても、事前にデジタル教科書を見るだけで教材研究になると思いました。



模擬授業の様子

指導資料の概要

そこで、子どもたちが他者への影響に配慮しながら、「自制心」を鍛えてメディア機器と適切な距離を保ち、自らの生活を組み立てていけるようになること、そして保護者に、小中学校段階はもちろん、就学前の段階から生活習慣の安定やメディアに対する家庭のルール作りの重要性を認識してもらうことを目標として、新たに「情報モラル指導資料(改訂版)」を作成しました。

この指導資料は以下に示す4つの資料から構成されています。

学校における情報モラル指導を計画的に進めるために、保護者への啓発、児童生徒への指導項目を確認するための資料です。

[illegible]

モデルカリキュラムで示された各項目について、その指導の際に使用または参考としていただける内容をプレゼンテーションデータとして用意したものです。以下のように成長段階と対象に応じた資料を用意していますので、参考時間を目安に、確保できる時間に応じて調整の上使用してください。

	保護者向け	児童生徒向け
1	「幼稚園・保育園」の保護者向け	「小学校」低学年児童向け
2	「小学校」移行学級の保護者向け	「小学校」中・高学年児童向け
3	「小学校」保護者向け	「中学校」生徒向け
4	「中学校」入学説明会の保護者向け	
5	「中学校」保護者向け	

保護者向けの講演会等の際の配布用として、家庭での取組のポイントを整理した資料です。以下の様に成長段階に応じた資料を用意してあります。

	啓発用配布資料	ページ数
1	「幼稚園・保育園」の保護者向け	A4 判 4 ページ
2	「小・中学校」の保護者向け	A4 判 4 ページ

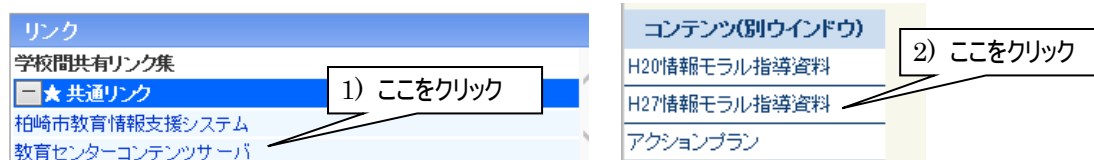
(4) 実態把握のためのアンケート

メディアに関わる技術や流行は日々変化していますので、定期的に自校の実態を把握することが重要です。平成 26 年度に全小中学校で実施したアンケートをベースに、若干修正を加えたアンケートのひな形を用意してあります。質問用紙、マークシート形式の回答用紙と、回答用紙をスキャナでスキャンして集計する際の変換、集計、報告用の Excel シートで構成されています。

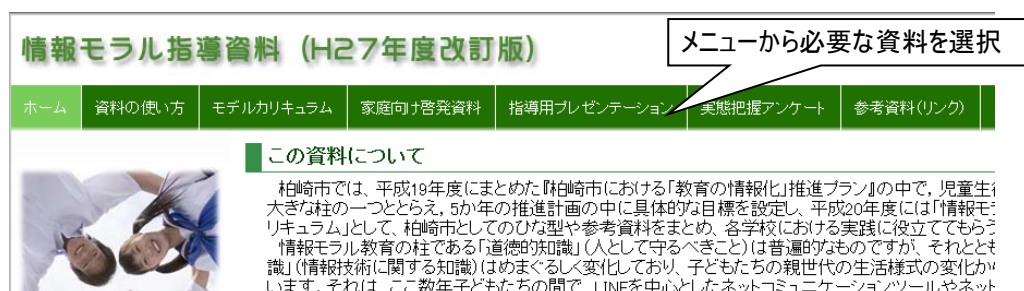
	説明
1	アンケート質問用紙のサンプル
2	アンケート回答用紙のサンプル
3	集計シートの利用手順説明資料
4	集計・報告・分析用 Excel ブック
5	平成 26 年実施分の全市集計結果

指導資料のダウンロードと利用の手順

①スクールオフィスログイン後の「リンク」情報ボックスの「共通リンク」欄から「教育センターコンテンツサーバ」をクリックします。教育センターコンテンツサーバのページが表示されたら、左側の「コンテンツ(別ウインドウ)」メニューから「H27 情報モラル指導資料」をクリックします。

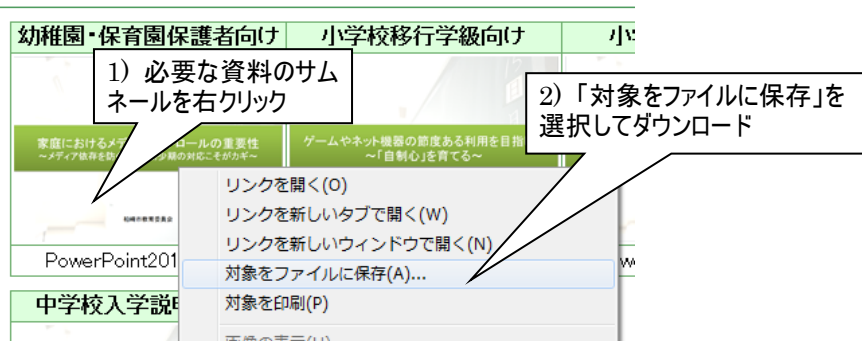


②次のような「情報モラル指導資料(H27 年度改定版)」の画面が表示されます。上部がメニューになっていますので、必要な資料の画面に切り替えます。



③必要な資料のサムネールの上で右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択して、ダウンロードします。

啓発用プレゼンテーション



8/9「情報モラルワークショップ」で活用例を紹介します

8/9(火)実施予定のセンター研修「情報モラルワークショップ」では、この指導資料の紹介、資料のプレゼンテーションデータを利用した授業例、情報モラル指導における「中学生メディア共同宣言」の活用、学校間の情報交換などを予定していますので、ぜひご参加ください。

【研修会・事業の様子】

○ 春の植物観察会 5月9日（月） 柏崎・夢の森公園にて

◇講師 上越教育大学教授 五百川 裕 様

公園内を歩きながら、出会う植物の説明とともにそれぞれが子孫を残すための巧みさや、樹木と菌類の共生など幅広く詳しく説明していただきました。



○ 理科主任研修会 5月10日（火）

◇指導 柏崎市教育委員会 古川 勝哉 指導主事

◇講師 柏崎植物研究グループ 相澤 陽一 様

今年度、学校研の幹事の方から科学作品展の出品基準を見直していただき、その説明を行いました。それに伴い、先生方が植物標本の作製指導を児童生徒にできるように、講師をお招きし実習を行いました。



○ 中3 「化学変化とイオン」 5月20日（金）

◇講師 第二中学校教諭 紙谷 武史 様

東中学校教諭 近藤 悠司 様

紙谷先生からは、簡単にできる通電チェッカーを、近藤先生からは9V電池を使用した電気泳動の実践を紹介してもらいました。詳細を知りたい方はお問い合わせください。



○ プラネタリウムで授業を！（小4） 5月24日（火）博物館にて

◇講師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

プラネタリウム内で夏の星座の学習ができるように、シナリオをもとにした模擬授業を行いました。参加者からも効果的な実践例が紹介され、充実した内容の研修になりました。



○ 小6 「植物の養分と水」 5月26日（木）

学習内容に適した植物の紹介や、たたき染めやアルコール脱色法の実習、顕微鏡による気孔の観察などを行いました。研修に参加することで、予備実験を兼ねることもできます。日々多忙な中、時間の有効活用としていかがですか。



○ プラネタリウム操作技能習得講座① 6月7日（火）博物館にて

◇講師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

教員自身がプラネタリウムを操作しながら授業を進めていくことを目指し、研修を行いました。コンソールには多くのボタンやダイヤルがあり複雑そうですが、必要最低限のものだけ使用しながら行えば、初心者でも実践可能です。まずは挑戦してみませんか？（次回は9/28）



○ 環境・エネルギー教育（放射線教育） 6月15日（水）16日（木）
柏崎原子力広報センターにて

◇講師 e-サイエンスコミュニケーション 舟生 武司 様

2月に県から配布された防災プログラム「原子力災害編」の内容を踏まえた研修を行いました。霧箱や測定器を使っての実習とともに、放射線の特性を知った上での身の守り方を学びました。



○ 小5 「流れる水のはたらき～鯖石川巡検～」 6月28日（火）

霧雨の中、川の上・中流の観察に適した地点を訪れました。悪天候であったため、川の増水している状態を確認することができました。

後半は石が流水によって丸くなることを再現する実習を行いました。



○ 科学研究おうえんプロジェクト

「海のいきもの観察会」 6月11日（土）	「初夏の植物観察会」 6月25日（土）	「昆虫観察会」 7月9日（土）
◇講師 近藤 亜矢子 様（比角小学校） 佐藤 俊男 学芸員（博物館）	◇講師 藤林 壽一 様（柏崎植物研究G） 藤林 順子 様（同上）	◇講師 廣田 万博 様 （上越市立春日小学校） 佐藤 俊男 学芸員（博物館）
さわやかな夏空の下、番神海岸で磯の生物の観察をしたり、貝や海藻の採集を行ったりしました。後半はセンターで海藻標本作りの実習を行いました。	夢の森公園を散策しながら、学年に応じた植物観察の仕方を学びました。後半はセンターで植物標本作りの実習を行いました。	残念ながら雨天だったため屋内活動のみとなりました。昆虫に関わるお話を聞いた上で、昆虫標本作りの実習を行いました。
		

○ 青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会 6月18日（土）新潟工科大学にて

今年も地域の先生方や中高大学生、各種団体の方々からご協力いただきました。17ブースを展開し、来場者は2,200人にのぼり、盛況な大会となりました。定番ブースの他に、毎回新たなブースを用意しています。授業の隙間時間などに役立つちょっとしたネタ探しに、参加してみませんか？

秋は11月26日開催予定です。

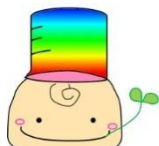


【要請授業など】

- 科学研究のすすめ：北条小・大洲小・鯖石小・刈羽小・枇杷島小
田尻小・内郷小・剣野小・柏崎小・荒浜小
- 科学クラブ：内郷小・大洲小・比角小・荒浜小・剣野小
- 親子活動：日吉小
- 星空観察会：荒浜小



日吉小の親子活動



今期もたくさんの要請をいただきました。都合のつく限り、伺いますので、いつでも声をかけてください。
(ただし、協力員は午後の方の勤務ですので、お気をつけください。)

事業のご案内 8～10月

○ 科学研究相談会

◇日 時 8月5日(金) 10:00～12:00
13:00～16:00

◇場 所 教育センター 科学実験室

◇講 師 柏崎植物研究グループ 阿部 文夫 様
博物館 佐藤 俊男 学芸員

○ 参考作品展

◇日 時 8月16日(火)～20日(土) 10:00～17:00

◇場 所 ソフィアセンター 2F会議室

○ 名前調べ会

◇日 時 8月20日(土) 10:00～12:00
13:00～15:30

◇場 所 ソフィアセンター 2F会議室

◇講 師 柏崎植物研究グループ 相澤 陽一 様
同上 河合 三喜雄 様
柏崎貝類同好会 井上 宗温 様
博物館 佐藤 俊男 学芸員

昨年度特別賞を受賞した児童生徒の作品の一部を展示します。

なお、今年度は会場が違います。ご注意ください。

○ 第51回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

◇日 時 9月9日(金)～19日(月・祝)

◇場 所 博物館

※表彰式は9月23日(金) 16:00～

両大会とも、多くの出品をお待ちしております。要項は6月下旬に各学校へ送付してありますので、ご確認ください。

なお、申し込みの際は児童生徒の名前と作品題名の確認をよろしくお願いします。

○ 第51回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

◇日 時 10月3日(月)

◇場 所 アルフォーレ



研修会のご案内 8～10月

○ 上越地区合同野外研修会「谷根川溪流ウォーク」

◇日 時 8月3日(水) 8:30～11:30

◇場 所 谷根川(集合:教育センター駐車場)

◇講 師 柏崎・夢の森公園 スタッフ 様

○ 望遠鏡技能習得講座

◇日 時 8月4日(木) 15:00～16:45

○ 星空観察会

◇日 時 8月11日(木・祝) 18:30～20:00

◇講 師 柏崎天文同好会 松村 昌明 様

南中学校校長 山田 智 様

○ 小3「こん虫を調べよう」

◇日 時 8月22日(月) 9:30～11:30

◇講 師 上越市立春日小学校教諭 廣田 万博 様

○ 地層観察会

◇日 時 8月23日(火) 9:00～16:00

◇講 師 瑞穂中学校校長 岸 勝巳 様

○ 秋の植物観察会

◇日 時 9月13日(火) 14:00～16:45

◇場 所 八石山周辺(集合:教育センター駐車場)

◇講 師 柏崎植物研究グループ 阿部 文夫 様

○ プラネタリウムで授業を！(小6)②

◇日 時 9月15日(木) 15:00～16:45

◇場 所 博物館

◇講 師 北条小学校教諭 山口 千佳子 様

博物館 佐藤 俊男 学芸員

○ 小3「ゴムのはたらき・風のはたらき」

◇日 時 9月20日(火) 15:00～16:45

○ プラネタリウム技能習得講座②

◇日 時 9月28日(水) 15:00～16:45

◇場 所 博物館

◇講 師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

○ プラネタリウムで授業を！(中3)③

◇日 時 10月14日(金) 15:00～16:45

◇場 所 博物館

◇講 師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

○ 生活科「秋遊び」

◇日 時 10月18日(火) 15:00～16:45

◇場 所 柏崎・夢の森公園

◇講 師 柏崎・夢の森公園 スタッフ 様

○ 中2「電流と磁界」

◇日 時 10月19日(水) 15:00～16:45

◇講 師 第二中学校教諭 紙谷 武史 様

東中学校教諭 近藤 悠司 様

○ 小5「電流のはたらき」

◇日 時 10月21日(金) 15:00～16:45

詳細は研修講座一覧をご覧ください。
年度途中の申し込みも可能です。都合
がつく方はどしどしご参加を！

TEL: 23-1168

E-mail: kec@kenet.ed.jp

今年はペルセウス座流星
群が見られるかも！

八石山の植物の名前を覚
えて、遠足などで生かして
みませんか？

プラネタリウム操作をし
ながら授業をすることを目
指します。



心の窓

No 2 0 1

〒945 - 1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

「気持ちのコントロール」

最近、「すぐにカッとなる」「お友だちに手が出る」「怒ると周りの言葉が入らない」「落ち着くまでに長い時間がかかる」など、気持ちのコントロールが難しいという相談を受けることがあります。幼児期にはそういう状態があっても、大人が抱っこをしたり、本人をグッと抑えたり、その場から離したりして、身体介助で何とか対応できていたけれど…。小学校にあがる頃には、子どもの体も大きくなり、力も強くなってくるので、座りこまれたら動かさない、お母さん 1 人では対応できない…という状況に変わっていきます。そうすると、保護者の方の困り感もグンと大きくなるようです。

そもそも、子どもというのは、自分の気持ちをコントロールする術(すべ)を持って生まれてくるのでしょうか…。成長に伴って、知性や理性がググッと伸びてきますから、それらが気持ちのコントロールを助けてくれることは間違いありません。でも、人が自分の気持ちを自覚し、それをコントロールできるようになるためには、どうしても自分以外の人の助けが必要なのです。ちょっと唐突ですが、保護者の方々が、小さい子どもをあやす場面を思い浮かべてください。

子どもは、お腹が空いても、怒っても、悲しくても、ワーンワーンと泣きます。そうすると、大人は「よしよし」「どうしたの?」と聞いてあげると思います。まず、この「あやしてもらふ経験」というのが、とても大切になってきます。子どもたちは、自分以外の人から「あやして」もらいながら、「自分の気持ちを、何とかおさめていく経験」を重ねていくのです。

次に、大人は泣いている子どもに「どうしたの?」と尋ねてあげると思います。「お腹が空いているの?」「怒っているの?」「悲しいの?」と、思い当たる理由を並べて聞いてあげましょう。それもまた、大切なことなのです。大人は、子どもの空腹を満たしたり、背中をトントンしてなぐさめたり、頭を撫でて「大丈夫よ」と声をかけたりして、子どもの要求を満たしてあげ、子どもの要求と大人の対応がピッタリ合うと、子どもの中から嫌な感情がスッと抜けていきます。大人は「やっぱりお腹が空いていたんだね」「怒っていたんだよね」「悲しかったよね」などと声をかけるでしょう。すると、子どもたちは「この嫌な感じは、お腹が空くってことなんだ」「怒るってことなんだ」「悲しいってことなんだ」と、自分の状態を自覚できるようになります。今、自分に何が起きているのかを自覚できるようになると、それを扱えるようになり、自分の気持ちをコントロールできるようになるのです。

いかがでしょうか…。「この子はすぐにカッとなる」と言う大人の中で、「気持ちのコントロールは、何もしなくても子どもが 1 人で身につけるもの」と思っている方はいらっしゃるかもしれませんか…。そんなに手助けをしなくても、上手に身につけていくお子さんもいますが、そうならない時には大人の助けが必要です。この子には、「あやし」が必要なのか?それとも「自分に起きていることへの自覚」が必要なのか?はたまた「具体的な対処方法の提案」が必要なのか…。子どもによって、コントロールができない理由は様々なので、まずはカウンセリングルームにご相談いただき、どんな手助けが必要なのかを一緒に考えられたらと思っています。

(文責:主査(臨床心理士) 佐藤郁代)

☆☆☆ふれあいルームから☆☆☆

ふれあいルームでは、いろいろな体験を行いながら、物や人とかかわりを深めてきました。その中で、通級生がコミュニケーション力を付けてきたり、物おじすることが少なくなったりしてきました。今後も、体験活動を通して、かかわりを大切にしていきたいと思います。

遠足♪～椎谷地区・観音堂でタケノコ掘り～



5月12日、初めて椎谷方面へ出かけました。スタート地点は椎谷地区の陣屋跡。海からの気持ち良い風が潮の香りを運んできます。今は芝生になっていますが、明治時代までの250年間にもわたって椎谷藩が置かれた場所であり、歴史を感じることができました。さらに歩いて観音堂に通じる仁王門を通り、長い階段を上りました。



椎谷観音堂へ着くと、華蔵院のご住職、高橋さんが待っていてくださり、広大な竹林でタケノコ掘りの体験をさせていただきました。掘り方を教えてもらい、通級生もいざ挑戦です。エイ！と勢いをつけて鍬を立てると心地よい音とともに大きなタケノコが取れました。普段、なかなかできない貴重な体験ができました。



観音堂の中でお弁当を食べて、海沿いを歩いて戻りました。砂浜で貝殻やシーグラスを拾いながら歩くと長い距離もあっという間でした。椎谷地区の歴史と文化に触れながら初夏を満喫したとても楽しい遠足になりました。

おいしくできた 笹だんご！



6月7日、高田コミュニティセンターで笹だんご作りの体験をしました。

講師の鴨下さん、山本さんの指導の下、教育センター周辺で採ったよもぎと粉をよく練ってだんごに！あんもだんごに！その後、あんをだんごで包むのが一苦勞。

最後の仕事は笹で包み、縛りました。縛り方がまた大変で、ゆるくて中身が出てきそうになったり、強すぎて切れてしまったりと何度もやり直しをしました。しかし、講師の教えに従って、真剣に仕事を進める通級生たちでした。その後、100個近くの笹だんごを4回に分けて蒸し器で蒸し上げました。できあがった笹だんごの味は最高で、いいお土産となりました。翌日「とてもおいしくいただきました」との声をいただきました。



茶道体験～優雅な時間を～



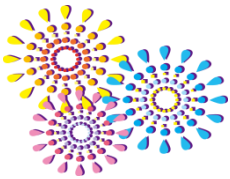
6月20日、講師の月橋先生から、掛け軸や茶花の必要性についてのお話を伺った後、お茶をいただく体験をしました。

茶菓の食べ方、お茶のたて方、お茶をふるまう相手への接し方などを教えていただきました。実際に体験してみると、いろいろな作法があることに驚きます。1時間半でしたが、古雅なたたずまいの中ゆったりと

した時間が流れました。参加した通級生たちは、きちんと正座して背筋を伸ばし、作法に則ってお点前を行う姿勢に対して、先生から「とても素晴らしい」と声を掛けられました。



(ふれあいルーム指導員 神林 治男)



教育相談係の予定

《カウンセリングルーム》

※いろいろ体験グループ (S S T)

◎時間

- ・16:30～17:30 小学校A・B・Cグループ
- ・18:30～20:00 中学校①・②グループ

◎予定

【8月】

A: 5日 (金) B: 12日 (金) C: 19日 (金)
中①: 25日 (木) 中②: 26日 (金)

【9月】

小学校保護者会: 2日 (金)・9日 (金)
中学校保護者会: 15日 (木)・16日 (金)

【10月】

A: 7日 (金) B: 14日 (金) C: 21日 (金)
中①: 27日 (木) 中②: 28日 (金)

【11月】

A: 4日 (金) B: 11日 (金) 小C: 18日 (金)
中①: 24日 (木) 中②: 25日 (金)

《ふれあいルーム》

【8月】

★夏季休業中も、ふれあいルームには指導員が在中し、開設しています。

29日 (月) 前期後半通級開始

【9月】

9日 (金) ソフィアセンター

15日 (木)・16日 (金) 妙高宿泊体験

20日 (火)・21日 (水) 三者面談

28日 (水) 博物館見学

【10月】

3日～6日 (木) 学校訪問

7日 (金) 前期後半通級終了

11日 (火) 後期通級開始

13日 (木) ソフィアセンター

20日 (木) 陶芸体験①

24日 (月)～27日 (木) 通級生面談

【11月】

8日 (火) 陶芸体験②

11日 (金) ソフィアセンター

15日 (火) 陶芸体験③

28日 (月)～30日 (水) 通級生面談

青少年育成委員会総会を開催しました



6月5日、市民プラザにおいて、平成28年度の青少年育成委員会を開催しました。本年度は育成委員の任期の2年目に当たり、委員の皆様には引き続き青少年育成のための各活動をお願いしました。

27年度の事業・会計決算報告並びに監査報告、28年度の事業計画・会計予算案もすべて承認され、28年度がスタートしました。

今年度も、

- 小中高校と連携して街頭育成活動、児童生徒の登下校時などの地区育成活動を実施し、児童生徒の安心・安全確保に努める。
- 高校生を対象とした早朝・下校育成を実施し、より多くの生徒たちとのかかわることで、非行・被害の未然防止を図り、見守り活動を継続する。

という目標を掲げ、青少年育成活動を実施することになります。今年度の新しい試みとして、高校下校育成に、高校生からも参加してもらい、高校生同士声を掛け合うことで防犯意識を高め、助け合う心を育てる活動を実施します。

その他、第36回を迎える「中高生と大人の座談会」で、中高生を中心としたワークショップを計画しています。今年度は、阿部松夫様から『ただたのみます いくさ あらすな』～歴史に学んで 平和を考える～という講話を聴いた後「あなたの平和への想いは？今、あなたができること」をテーマに語り合います。中高生と大人の年齢を超えた意見交流の場にしたいと思っています。

平成28年度の青少年健全育成活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

えんま市育成活動 を実施しました

柏崎のビッグイベント「えんま市」で街頭育成活動を行いました。6月14日～16日の15時から22時を8のブロックに分け育成委員が手分けをして見回りを行いました。今年度も、新任の校長先生方や高校の先生方に加え、柏崎警察署少年補導員・

少年指導委員・生活安全課・少年サポートセンター職員・スクールサポーターの皆さんと合同で行いました。

- 1 今年度は15時開始にしたが、平日であったために子どもたちがまだ少なく、実態を知るためには、もう少し遅い時刻に活動開始した方がよい。
- 2 コンビニ店が、駐車場を駐輪場として開放してくれたため、昨年に比べ自転車の置き方がよかった。
- 3 小学生女児のイヤリングや化粧、制服を着用していても化粧をしている高校生が多く見ら

れた。犯罪に巻き込まれる恐れがあるということで、サポートセンターの職員が声かけを行った。

- 4 食べ物販売の露店が増えているので、食べ歩きは仕方ないかもしれないが、とがった串を持っているのがとても気になった。食べるスペースやごみ箱をもっと確保できるとよい。
- 5 育成活動員に進んであいさつしてくれる子どもたちも多くいて、気持ちがいい。

などの感想が寄せられました。ご協力ありがとうございました。



8～10月の予定

8月			9月			10月		
日	曜	ことから	日	曜	ことから	日	曜	ことから
1	月	昼間育成活動	5	月	下校育成活動	1	土	子ども・若者育成支援強調月間啓発活動
5	金	夜間育成活動	6	火	下校育成活動	8	土	小学校PTA育成
7	日	中高生と大人の座談会 「夏休み中高生のワークショップ」	7	水	早朝育成活動	11	火	下校育成活動
19	金	昼間育成活動	10	土	小学校PTA育成	12	水	下校育成活動
27	土	中学校PTA 育成	16	金	夜間育成活動	14	金	夜間育成活動
			26	月	昼間育成活動	24	月	昼間育成活動

育成座の紹介



<7/2 児童向け不審者対応スタンプ、剣野コミセン> <7/7 お年寄りの昼食会にて 大洲コミセン>

育成座の出前公演はいかがですか？

保育園・児童クラブなどへ出かけ、「不審者対応」「家族の役割」など、ご要望に合わせてスタンプをしたり、子どもたちと遊んだりします。7月28日には、比角第2児童クラブに出かけます。

主な行事のご案内

第36回 中高生と大人の座談会

青少年育成センター

日 時：8月7日(日) 12:45～17:00

会 場：市民プラザ 海のホール 波のホール

◎阿部松夫様から「ただたのみます いくさ あらすな」というご講演をいただき「あなたの平和への想いは？ 今、あなたができること」をテーマに高校生主導のワークショップ形式で、柏崎市内の中高生と青少年育成委員が語り合い、成果を発表します。



家庭・学校・地域との連携研修大会

日 時：8月20日(土) 9:20～11:50

会 場：文化会館アルフォーレ 大ホール

◎講演：(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング代表取締役 村山 哲二様

「スポーツと柏崎の子どもたちの未来について」

◎パネルディスカッション：「子どもの健全育成のために、家庭・学校・地域が、どのように連携・協働していくことができるか」

※参加をお待ちしています！

科学作品展 科学研究発表会

○第51回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

日 時：9月9日(金)～19日(月)

会 場：柏崎市立博物館

表彰式：9月23日(金) 16:00～

○第51回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

日 時：10月3日(月)

会 場：文化会館アルフォーレ

表彰式：9月23日(金) 16:00～

上位大会めざし、多くの出品をお待ちしています！

つれづれ



所 員 随 想

福井県敦賀市本町(ほんまち)界限

青少年育成センター 歌代 信夫

柏崎では「ほんちょう」ですが、敦賀では「ほんまち」と読みます。駅から気比神宮の一面に最盛期には飲食店が300軒くらいありました。ご多分に漏れず、この不景気でだいぶ減ってはいますが、まだまだにぎやかです。

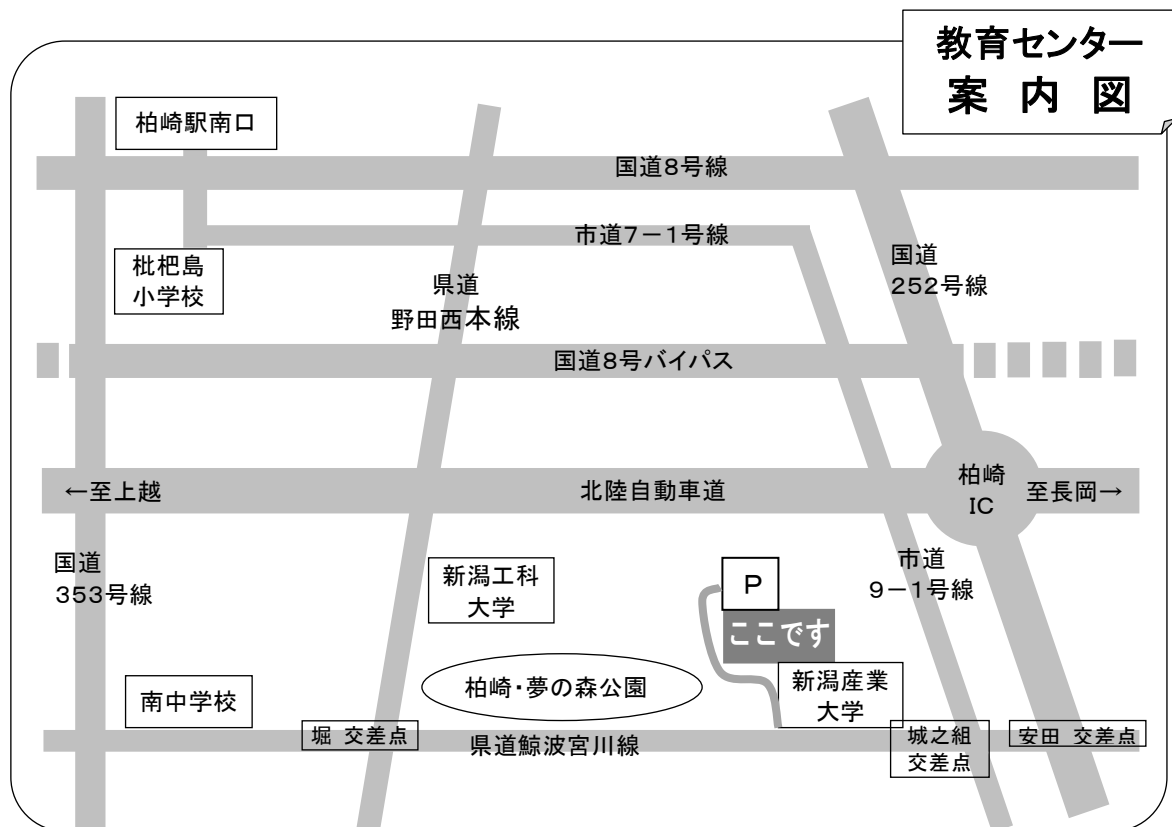
友人S氏が敦賀に住み始めた頃、一人での長距離ドライブを趣味のようにしていた私は、当てもなく家を出発して「さて、どこに行こうかな?」「そうだ、敦賀へ行ってみるか!」と、ふらっとS氏の家へ押しかけたのが敦賀へ通い始めたきっかけです。

それ以来、よく敦賀に通い、飲み歩くようになりました。二人で本町界限をぐでんぐでんになるまで飲み歩いていた時に、一軒のスナックに初めて入ったら、ドアを開けた途端、唸れ声のマスターに関西弁で「お久しぶりです。」と言われ、ビックリ!近所の木村カメラ店の若旦那にそっくりで、間違えたらいいです。そんなことで、盛り上がってしまい、以来20年以上の常連さんになってしまいました。

最初は、ただ飲みに来ているだけなのに信用されず、柏崎なので原発の関係で来ていると思われていましたが、やっとただ飲みに来ているだけなのをわかってもらいました。最近では、地元感覚で「今度はいつ来るの?」で柏崎へ帰ってきます。

福井県なんて単なる大阪への通過地点としか思っていなかったものが、今では、柏崎と同じくらい「普通」に夜の徘徊ができるようになりました。夜中の11時に呑み終わってから一人でフラフラとホテルへ帰る道も、今では何も違和感がありません。この頃地元ではあまり飲み歩かないので、かえって柏崎の夜が怖いくらいです。





〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、新潟産業大学の正門から入り、キャンパス内では徐行をお願いします。

電子版の閲覧

イタリアの天文学者ガリレオ・ガリレイのたゆまぬ創造と検証の精神にちなみ、教育センター所報を「GALILEI」と名づけています。

インターネット（カラー）版は、柏崎市HPで「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、この支援システムトップ画面右上の所報「GALILEI」をクリックすると過去のガリレイも閲覧できます。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.lg.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談係（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談係（いじめ不登校電話相談）

TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.lg.jp

教育情報支援システムURL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成28年度 第2号（夏号） 7月発行

=====